

あれ？もしかして認知症？

認知症初期集中支援チーム がサポートします！

相手の言っていることがよくわからない

今まで簡単にできていたことができなくなってイライラする

不安だけど、みんなに心配をかけたくない

また鍋を焦がしちゃった

よくものをなくすのよね

認知症初期集中支援チームとは？

認知症初期集中支援チームはいきいき支援センター職員（保健師・看護師と社会福祉士）と認知症サポート医1名で構成されています。認知症になっても本人の意志が尊重され、できる限り望む暮らしを送ることができるように早期受診・早期対応に向けた支援を行います。

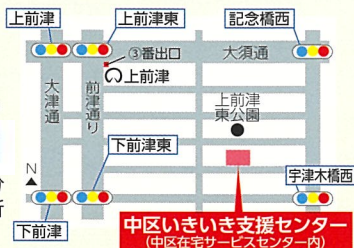


お問い合わせ 開設時間 月曜～金曜（祝祭日・年末年始を除く）9：00～17：00

中区いきいき支援センター

中区上前津二丁目12-23
中区在宅サービスセンター内
TEL 052-331-9674
FAX 052-331-6001

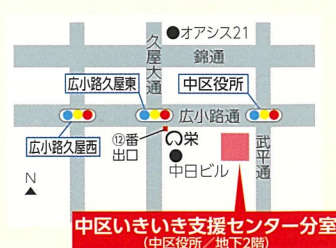
地下鉄「上前津駅」③番出口より徒歩7分
「上前津東」交差点から南に4本目を左折



中区いきいき支援センター分室

中区栄四丁目1-8
中区役所／地下2階
TEL 052-262-2265
FAX 052-262-2275

地下鉄「栄駅」⑫番出口より徒歩3分



認知症 早期発見・早期対応のメリット

1 症状が軽い段階から、こころ・身体・生活の準備をすることができます。

ご家族はもちろん、医師や介護スタッフとも相談しながら、認知症の症状に向き合い、日常生活を維持する準備期間が重要です。

2 進行を緩やかに、また、症状を軽快する治療薬の効果が期待できます。

薬の服用等を含めて、早い時期からの治療開始が効果的といわれています。

3 治療できる認知症やよく似た症状のある病気にも対応できます。

認知症の原因となっている病気が早期に判れば、治療可能な場合もあります。

出典／国立研究開発法人 国立長寿医療研究センターもの忘れセンター家族教室テキストより

【家族が作った「認知症」早期発見の目安】



物忘れがひどい

- 今切ったばかりなのに、電話の相手の名前を忘れる
- 同じことを何度も言う・問う・する
- しまい忘れ、置き忘れが増え、いつも探し物をしている
- 財布・通帳・衣類などを盗まれたと人を疑う

判断・理解力が衰える

- 料理・片付け・計算・運転などのミスが多くなった
- 新しいことが覚えられない
- 話のつじつまが合わない
- テレビ番組の内容が理解できなくなった

時間・場所がわからない

- 約束の日時や場所を間違えるようになった
- 慣れた道でも迷うことがある



人柄が変わる

- 些細なことで怒りっぽくなった
- 周りへの気づかいがなくなり、頑固になった
- 自分の失敗を人のせいにする
- 「このごろ様子がおかしい」と周囲から言われた

不安感が強い

- ひとりになると怖がったり寂しがったりする
- 外出時、持ち物を何度も確かめる
- 「頭が変になった」と本人が訴える

意欲がなくなる

- 下着を替えず、身だしなみを構わなくなった
- 趣味や好きなテレビ番組に興味を示さなくなった
- ふさぎ込んで何をするのも億劫がり、いやがる